



晴れたり、雨が降ったりと、天気の移り変わりが多いこの時期。室内遊びが多くなりますが、室内ならではの遊びで楽しみながらこの時期を過ごしていきたいと思えます。緊急事態宣言も発令され、まだまだ油断はできない状況が続きます。保育の中でも工夫をしていきたいと思えます。

6月の予定

- 3日(木) 尿・ぎょう虫検査提出日(1日目)
- 4日(金) // 提出日(2日目)
- 14日(月) 身体測定(ぺんぎんぐみ)
- 15日(火) 身体測定(ひよこぐみ・すずめぐみ)
- 16日(水) 身体測定(あひるぐみ)
- 17日(木) 身体測定(つばめぐみ・たかぐみ)
- 23日(水) 慰霊の日(休園)
- 25日(金) 歩け歩け大会(お弁当会)
- 29日(火) お誕生会※園児のみ

7月の主な行事

- 2日(金) なつまつり(園児のみ)・5日(月) プール開き
 - 7日(水) セタ会・20日(火) お誕生会
 - 12日(月)～16日(金) 保育教育参観
 - 30日(金) プラネタリウム鑑賞(つばめ組・たか組)
歩け歩け大会(お弁当会)
 - ※21日(水) 1号認定児なつやすみ開始
- 今後のコロナウィルス感染症の状況により、行事の日程・内容の変更、実施可否を検討させていただきます。

お誕生会について

保護者の方々も参加する園行事に関しては、那覇市からの指導を基に開催していきます。今年度も、お誕生会は園児のみの開催とさせていただきます。園児、保護者の方々、職員の健康と安全を最優先と考えていますので、ご理解の程よろしくお願ひします。

～園長より～

6月23日は、「慰霊の日」です。76年前…沖縄では激しい戦争がありました。この戦争では、兵士だけでなく、たくさんの尊い命が失われました。慰霊の日には沖縄戦で亡くなった人たちの霊をなぐさめ、「二度と戦争を起こさないこと」を誓う日です。6月23日には沖縄戦で亡くなった方々のご冥福をお祈りし、世界中の平和を願ひましょう。

『かわいそうなぞう』という絵本があります。聞いたことがある方も多いと思ひます。私は小学生の頃にこの物語を知りました。第二次世界大戦が激しくなつたころ、上野動物園で実際にあつたお話です。空襲で檻が破壊された際の猛獣逃亡を危惧し、動物達を殺処分することに。餌や水を与えず餓死するのを待つことにしますが、ゾウたちは餌をもらうために必死に芸をします。最後は力尽きてしまい…。戦争というものの悲惨さが、何の罪もない動物たちまで巻き込んでしまう。結果、今の自分たちがいかに恵まれているのか、と考えさせられます。園でも『平和』について子どもたちと考へていけたらと思ひます。

かわいそうなぞう



意見箱

5月に子ども達のマスク着用についてのご意見をいただきました。園内でのマスク着用について掲示板に掲示させていただきます。

今月の目標
・梅雨時の自然現象に興味を持つ
・身の周りの片付けができる

今月の歌
・かたつむり・素敵なパパ
・たなぼたさま・どんな色がすき

今月の踊り
・シャリシャリシャーベット
・にんじゃカニ!

お知らせと協力願ひ

- 持ち物バッグにキーホルダーやお守りをつけると、小さな部品が取れることがよくあり、乳児が口にすることを恐れます。カバンには、取りつけないようお願いします。
- ヘアピンやカチューシャ、髪飾りの硬い物に関して、活動内容によっては、頭部に刺さり危険な場合もあります。園での使用は控えるようお願い致します。髪をまとめる際は、ヘアゴムの使用をお願いします。
- 活動時の安全を考慮し、スカートやワンピースでの登園は控え、Tシャツ・ズボンで登園下さい。(裾を踏んでの転倒・戸外活動での衛生面等)着用する場合、午後のお着替え分に用意し、中からズボンの着用をお願いします。
- 現在、つばさこども園には食物アレルギーを持つ園児が数名います。食物アレルギーは生命に危険を及ぼすアナフィラキシーショックを起こすことがあるため、日常生活を送るうえで十分な注意が必要です。当園では、該当の食材を使用しない献立への変更や代替メニューへと配慮を行っています。朝食は自宅で食べきり、園内に食べ物を持ち込まないようお願い致します。(床に落ちた食材をアレルギー児が触ったりする可能性があります。)

また、バレンタインデーやハロウィン、旅行先からのお土産なども食物アレルギーの観点からご遠慮させていただきます。ご理解の程、よろしくお願ひ致します。

(1) 食物アレルギーとは

食物アレルギーは、特定の食物を摂取した後にアレルギー反応を介して皮膚・呼吸器・消化器・あるいは全身性に生じる症状のことを言い、そのほとんどは食物に含まれるタンパク質が原因で生じる。

(2) 食物アレルギーの症状

食物アレルギーの症状は、多岐にわたる。皮膚・粘膜・消化器・呼吸器、さらに全身性に認められることがある。最も多い症状は皮膚・粘膜症状である。複数の臓器に症状が出現する状態をアナフィラキシーと呼び、呼吸器症状の出現はさらにアナフィラキシーショックへ進展するリスクが高まり注意が必要である。

(3) アナフィラキシーとは

アレルギー反応により、じん麻疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が複数同時にかつ急激に出現した状態を指す。その中でも、血圧が低下し意識レベルの低下や脱力をきたすような場合を、特に“アナフィラキシーショック”と呼び、直ちに対応しないと生命にかかわる重篤な状態である。

**子どもたちの安心・安全な
保育のためご協力お願ひ致します。**